

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛ほーむ作成日: 平成 29 年 1 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		これからのグループホームの在り方について	法律が毎年のように変わり、現場で働く者にとって、将来の長期計画を立てにくい環境の中で、行政と連携し、地域密着型グループホームとしての方向性を定め、職員全員が安心して働ける事業所を目指していく。	短期、中期計画を立てて、職員に説明し、職員一人ひとりが、将来の希望と働く喜びを感じてもらえるグループホームを目指し、職員全員が生き甲斐をもって働ける職場環境に取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員を中心に利用者本位の介護に取り組んでいるが、若手の職員を育てる取り組みを検討していく。	グループホームが、これからも地域の福祉事業の拠点として、地域の高齢者や家族が、安心して暮らせる体制を整え、若手職員の採用と介護技術の向上を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。